

## 活躍をめぐる周辺環境

### 1 女性の活躍を阻むもの

付表 - 1 - 1 女性が職場で活躍できない理由（都・複数回答）

（単位：％）

区分	女性	男性
回答者数（人）	387	237
女性の平均勤続年数が短い	27.1	31.6
家事、育児、介護等の家庭的責任に伴い、配置や時間外労働等に制約がある	23.0	27.0
防犯上の問題から、女性には時間外労働や深夜労働をさせにくい	10.3	21.5
女性自身が昇進・昇格を望まない、または仕事に対して消極的である	27.9	27.8
日常の業務が忙しく企業が対応する余裕がない	14.0	8.4
取組をすることは、企業のコスト上昇につながるため（経営上、余裕がない）	7.8	2.5
女性が活躍するための取組の具体的な手法がわからない	29.2	13.5
男性管理職や男性従業員の認識、理解が不十分である	47.5	26.6
既に十分に女性が能力を発揮していると企業サイドが思っている	6.2	5.1
女性が十分に活躍しているとまでは言えないが、現状のままでも問題がない	19.6	21.5
女性が少ない、いない	31.3	35.0
トップの意識が伴わない	31.5	15.2
無回答	1.3	0.8

注1：従業員に対する調査。

注2：女性が職場で男性と平等に活躍できるかどうかについて、「あまり平等に活躍できない」「平等に活躍できない」と回答した男女にその理由をたずねた。

資料：東京都産業労働局「平成16年度男女雇用平等参画状況調査」2004（平成16）年

## 2 女性の活用が進まない理由

付表 - 2 - 1 女性の活躍を推進する上での問題点（全国・複数回答）

区分	構成比（％）
女性の勤続年数が平均的に短い	43.4
家庭責任を考慮する必要がある	48.7
一般的に女性は職業意識が低い	20.8
顧客や取引先を含め社会一般の理解が不十分である	10.9
中間管理職の男性や同僚の男性の認識、理解が不十分である	10.0
時間外労働、深夜労働をさせにくい	35.5
女性のための就業環境の整備にコストがかかる	4.1
重量物の取扱いや危険有害業務について、法制上の制約がある	14.1
女性の活躍を推進する方法がわからない	2.4
その他	5.2
特になし	16.4
不明	0.0

注：調査対象は、本社において常用労働者を30人以上雇用している民間企業のうちから、産業・規模別に層化して抽出した約7,000企業。回収率は74.7%。

資料：厚生労働省「平成15年度女性雇用管理基本調査報告」2004（平成16）年

### 3 女性研究者が少ない理由

付表 - 3 - 1 女性研究者が少ない理由（複数回答）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	1996（平成8）年度		2002（平成14）年度	
	女性	男性	女性	男性
回答者数	108	1,722	44	1,303
女性研究者の処遇（賃金・昇進等）が低い	26 24.1	158 9.2	3 6.8	144 11.1
女性を採用する受け入れ態勢が整備されていない	61 56.5	647 37.6	19 43.2	505 38.8
研究者のポストそのものが少ない	22 20.4	220 12.8	8 18.2	197 15.1
自然科学系の女子学生が少なく、また女子学生の専攻学科に偏りがある	20 18.5	950 55.2	10 22.7	568 43.6
出産・育児・介護等で研究の継続が難しい	66 61.1	950 55.2	27 61.4	579 44.4
女性は、自然科学系の研究職への適正が低いから	- -	- -	1 2.3	42 3.2
女性は研究職に対する認識が低い	7 6.5	212 12.3	- -	- -
目視すべきロールモデルが少ない	- -	- -	6 13.6	164 12.6
よくわからない	0 0.0	19 1.1	1 2.3	53 4.1
その他	8 7.4	73 4.2	4 9.1	56 4.3
無回答	0 0.0	0 0.0	1 2.3	11 0.8

注1：調査対象者は、現在研究活動を行っている研究者として2001年中にJSTPlusファイル（注3）に登録された論文から、第1著者もしくは第2著者として科学技術論文を執筆している産学官の研究者を現在研究活動を行っている研究者として、2,000名を民間企業50%、大学等30%、公的研究機関等15%、その他機関5%の割合で無作為抽出した。

注2：平成14年度では、平成8年度にあった「女性は研究職に対する認識が低い」の選択肢が削除され、「女性は、自然科学系の研究職への適正が低いから」と「目指すべきロールモデルが少ない」が追加された。

注3：科学技術振興事業団（JST）が提供するJOIS（JST Online Information Systems）に含まれている、科学技術全分野（医学を含む）に関する文献情報データベースファイルの名称。

資料：文部科学省「平成14年度我が国の研究活動の実態に関する調査報告」2003（平成15）年